



社会・環境
貢献緑地

社会・環境に貢献する創出された緑地環境 『SEGES (社会・環境貢献緑地評価システム):そだてる緑』

一旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社

あさひ・いのちの森 の緑地・取組みを認定一

公益財団法人都市緑化機構（会長 矢野 龍）では、企業緑地の保全、環境コミュニケーションから生まれる、社会・環境機能の価値を総合的かつ客観的に評価する「緑の認定」制度 SEGES(シージェス)「そだてる緑」を実施しています。今回、新たな認定緑地を以下のとおり決定しました。

認定サイト名

旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社

あさひ・いのちの森 （静岡県富士市鮫島2-1）

認定ラベル

Excellent Stage 2



■ Excellent Stage 2（エクセレントステージ2）の定義

緑地を通じた社会・環境貢献性が極めて高いと認められるサイトに与えられる。

■ SEGES「そだてる緑」認定基準

事業者が所有する緑地(300㎡以上)の優良な保全、創出活動を認定する。

■ SEGES「そだてる緑」認定 サイト数

22サイト（2017年9月7日現在）

主な参加企業

アサヒビール(株)、出光興産(株)、花王(株)
トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、富士通(株)など



お問合せ先 公益財団法人都市緑化機構 SEGES事務局 担当 田代・一條・菊池

〒101-0051 千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階

電話:03-5216-7191 FAX:03-5216-7195 E-mail: tashiro@urbangreen.or.jp

■ 候補地選考から表彰までの流れ

申込(書類審査)	現地審査	認定委員会	認定式
平成29年6月	平成29年7月	平成29年7月26日	平成29年10月予定

■ 認定緑地 別添資料1 「SEGESそだてる緑 旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社

あさひ・いのちの森」をご覧ください

■ 認定方法 下記委員によるSEGES評価・認定委員会において認定

委員長	丸田 頼一	千葉大学 名誉教授
	仙田 満	東京工業大学 名誉教授
	井上 洋	一般社団法人日本経済団体連合会 政治・社会本部 参事
	海野 みづえ	株式会社創コンサルティング代表
	斎藤 正一	株式会社日経BP社 環境ビジネス本部 環境経営フォーラム事務局長
	鈴木 敏央	株式会社 鈴木敏央 ISO 事務所 代表取締役
	寺田 良二	PwC サステナビリティ合同会社 執行役員
	古澤 達也	国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

(敬称略)

お問合せ先 公益財団法人都市緑化機構 SEGES 事務局 担当 田代・一條・菊池
 〒101-0051 千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル 2 階
 電話: 03-5216-7191 FAX: 03-5216-7195 E-mail: tashiro@urbangreen.or.jp

SEGESとは (シージェス・社会環境貢献緑地評価システム)

SEGES(Social and Environmental Green Evaluation System)は、企業の保有・創出する緑地事業について、地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和、地域生態系の保全、良好な景観の保全と創出、地域社会とのコミュニティ醸成や安心・安全なまちづくり等、社会や環境に貢献していることから、その都市緑化事業を(公財)都市緑化機構が認定するものです。SEGESでは3つの認定部門「そだてる緑」「都市のオアシス」「つくる緑」から構成され、9月現在89箇所の企業緑地を評価・認定しています。この中で「つくる緑」と「都市のオアシス」は建設・開発事業者の都市緑化への取り組みを評価・認定するものです。SEGESは政府が定める「生物多様性国家戦略2012-2020」や「低炭素まちづくり実践ハンドブック」、「生物多様性民間参画ガイドライン」等にも記載されている評価システムです。





旭化成株式会社 / 旭化成ホームズ株式会社 あさひ・いのちの森

◇静岡県富士市鮫島2番地の1



Excellent Stage 2

NEW

自然林・里山林・田・草地・湿原・池 の生物多様性を育み地域貢献を実現

あさひ・いのちの森は、静岡県富士市の田子の浦湾に面する旭化成富士支社敷地内にある約1万㎡の緑地です。2007年の旭化成富士支社内旭化成ホームズ住宅総合技術研究所創設に際し、その環境再生ゾーンとして造成されました。自然林だけでなく、里山林や田・草地・湿原・池の流れ等を含めた多様な生態系の再生を通して、富士市沿海部の原風景（地域固有の植生）の再現を目指し、田子の浦地域を忠実に反映した緑地です。

トンボ類、バッタ類、チョウ類などを中心とした昆虫類や鳥類、哺乳類が周辺から自然に入り込んできます。複合的な生態系をつくりだし多様な生物生息環境を育てていきます。

5月末から6月上旬にかけては、最もホタルが飛び交う時期です。地元の方も参加していただくホタル鑑賞会は、この時期の一大イベントとして約4,000人の参加をいただき地域に定着しています。田んぼでは10月に社員有志と家族で稲刈りを行なうなど森の行事に親しみを持って参加しています。

- ◆旭化成富士支社 操業：1958年 ◆旭化成ホームズ住宅総合技術研究所あさひ・いのちの森 操業：2007年
- ◆敷地面積 562,000㎡
- ◆緑地全体：75,795㎡
- あさひ・いのちの森：10,570㎡

- ④ピオトープの池にはメダカやフナもいます。
- ⑤毎年恒例の社員家族での稲刈りの風景です。

